

里山と
つながる!

先人から学ぶ、

山と農村との つながり講座

この講座は高島市協働提案事業により開催いたします。

参加
無料

各回
20名
程度

棚田に立ち、農村の暮らしと知恵に触れる。
全6回のシリーズ講座。(詳細はウラ面をご覧ください。)

琵琶湖を望むマキノ町・森西地区の棚田や山へ入り、農村の暮らしを体験・学習する連続講座です。田植えから地域行事まで、代々受け継がれてきた農村の仕組みと風景に、実際に触れてみませんか。※6回全てに参加していただくなくても、ご希望の回のみへのご参加も可能です。

1

琵琶湖を望む

棚田で田植え

5/24

日



山からの水を使った田んぼで
滋賀県生まれの酒米「吟吹雪」を手植えします。

2

棚田の水源を辿る

5/31

日



山をくり抜いて棚田に水を通す、稲山隧道。
先人たちの知恵と努力の結晶を辿ります

3

田んぼの草取り作業

6/7

日



田植えから約2週間。育ちはじめた苗を丁寧に手入れします。

4

集落の共同作業

ふしん
「普請」に参加

6/21

日



農村を代々守ってきた地域行事・普請を
実際に集落の方たちに混じって体験します。

Coming Soon ...

5

稲刈り

10月頃予定

6

日本酒造り見学

2月頃予定

主催 森の実験室

共催 高島市

協力 森西区・森西集落協定

お問い合わせ：0740-20-1271 (森の実験室 水口)



山と農村とのつながり 講座のご案内



参加
無料

各回
20名
程度

※6回全てに参加していただかなくても、ご希望の回のみへのご参加も可能です。

第1回 琵琶湖を望む棚田で田植え体験

日時 2026年5月24日(日) 10:00~15:00



琵琶湖を望むマキノ町・森西の棚田で、滋賀県生まれの酒米「吟吹雪」を植えます。山からの水を使った田んぼで育てたお米は、冬の日本酒づくりへとつながります。昼食はかまどご飯とお味噌汁付き。琵琶湖を眺めながらみんなでいただきます。

第2回 棚田の水源を辿る

日時 2026年5月31日(日) 10:00~15:00



山をくり抜いて棚田に水を通す、稲山隧道。先人たちの知恵と努力の結晶です。講師のお話を聞きながらその水源を探して歩きます。山と田んぼのつながりを、実際に歩きながら感じてみてください。(講師:峯森 清嗣氏)

第3回 田んぼの草取り作業

日時 2026年6月7日(日) 10:00~12:00



田植えから約2週間。植えた苗が育つ棚田に入り、丁寧に除草作業を行います。田んぼの中に足を入れ、手入れを通じて田んぼの変化を体感しましょう。

第4回 集落の共同作業「^{ふしん}普請」に参加

日時 2026年6月21日(日) 8:00~11:00



森西集落の地域行事「普請」に参加します。農村がいかんにして守られてきたか、集落の方たちとの共同作業を通じて学ぶ貴重な機会です。

第5回 稲刈り 10月頃開催予定

Comming Soon ...

第5回以降の詳細はあらためてご案内いたします。

第6回 日本酒造り見学 2月頃開催予定



集合場所



(集合場所は各回共通です)

みなくちファーム

滋賀県高島市マキノ町蛭口 1386-8

※Google マップ検索で出ます。



お申し込み



参加をご希望の方はこちらの二次元バーコードのフォームよりお申し込みください。

申し込みフォームは各回共通です。



<https://x.gd/Ai4s6>